

千葉県議会議員（我孫子市選出・無所属） 会派『千葉新政策議員団』代表

水野 ゆうき

水野ゆうきの
ゆう can Change!
vol.65



千葉豪雨・台風25号を踏まえた都市型水害対策強化へ！

千葉豪雨では線状降水帯が3回発生し、「記録的短時間大雨情報」が25回発表されるなど、これまで経験したことのない規模の集中豪雨が地域を襲い、極めて深刻な都市型水害となりました。また、9月に発生した台風25号では印旛沼の堤防が決壊し、周辺で大規模な浸水被害が発生しました。千葉県は今回の豪雨を踏まえ、追加で73億9,600万円の補正予算を編成しました。水野ゆうきは9月定例千葉県議会の代表質問に登壇し、豪雨で浮き彫りになった課題や都市部特有の脆弱性を検証し、「都市型水害に強い千葉県づくり」の実現に向けて議論を深めました。

●●●●●●●●●● 水野ゆうきの9月議会での質問と千葉県の対応 ●●●●●●●●●●

県管理道路の路面の冠水対策

水野ゆうき 千葉豪雨では、県管理道路区間の特にアンダーパスについては9箇所で冠水が生じ、このうち7箇所で車両の被害が発生。実効性のある道路冠水対策を求める。

千葉県 県管理道路におけるアンダーパス全24箇所に冠水時における車両進入を物理的に防止する設備の設置を進める（3億6千万円）。

千葉県が我孫子市内のアンダーパス4箇所に追加補正予算で遮断装置を整備します！

- ①JR常磐線第4浜街道ガード（国道356号）
- ②布佐アンダーパス（千葉竜ヶ崎線）
- ③JR常磐線船取ガード（船橋我孫子線）
- ④天王谷アンダーパス（船橋我孫子線）



第4浜街道ガード（国道356号）



布佐アンダーパス（千葉竜ヶ崎線）

行政区にとらわれない帰宅困難者向けの情報発信

●県内市町村の情報発信力・量・即時性にバラつき…

水野ゆうき 千葉豪雨では、県有施設全体で過去最大となる約2,700人の帰宅困難者を受け入れました。大規模災害発生時には帰宅困難者が安全に身を寄せる事ができる一時滞在施設を速やかに開設するとともに、その場所や開設状況を必要な方々へ迅速かつ確実に届ける事が不可欠ですが、市町村の情報発信量や即時性にバラつきがあり、千葉県や近隣市町村と足並みが揃っていないケースが散見されました。広域自治体として基礎自治体の情報発信力のフォローを。

千葉県 平時から県ホームページやSNS等から一時滞在施設の情報が入手できることを周知・啓発するとともに、市町村に対し、施設を開所した際は、あらゆる情報手段を用いて周知するよう働きかけていく。

●鉄道会社との連携

水野ゆうき 鉄道の各駅における帰宅困難者の状況を自治体が把握するとともに、鉄道会社と協力して各駅でも最寄りの一時滞在施設へ案内するなど、鉄道会社と連携していくべき。

千葉県 今後は各駅を統括する鉄道事業者との連絡・調整できる仕組みを検討していく。

県管理排水機場の老朽化対策

水野ゆうき 排水機場や水門等の河川管理施設は昭和40年代～50年代に建設されたものも多く、老朽化による性能低下や故障リスクが心配される。豪雨時に確実に排水機能を発揮できるよう、老朽化対策を着実に進めていくべき。

千葉県 22施設について長寿命化計画を策定し、計画的な整備・更新を実施し、今年度は、海老川排水機場ほか4機場で機械設備の更新等を実施する予定。

避難所環境整備と速やかな開設

水野ゆうき 市町村によって避難所の備蓄物資や設備、運営体制などに差がある。スフィア基準を遵守した避難所環境が確保されるよう、県による市町村への支援強化を。

千葉県 避難所の良好な環境の確保に向け、市町村に対し手引きや研修による助言を行うとともに、補助金の活用を促す。

水野ゆうき 市町村職員に避難所開設を任せている自治体では、開設に向かう途中に職員が危険にさらされたり、開設が遅れる例があった。休日等にも迅速な開設ができるよう県から市町村に働きかけを。

千葉県 職員でないと開設できないわけではないため、今回の事例を踏まえて、迅速に避難所を開設できる仕組みを考えるように促進していく。

スフィア基準とは？

過酷な避難所生活による「災害関連死」を防ぎ、誰もが安心して過ごせる環境をつくるための重要なガイドライン。

- 居住スペース：1人あたり最低3.5㎡
- トイレの数：20人に1つ以上
- 温かい食事の提供 など

※避難所の運営主体は市町村です。